

株式会社ネプロジャパン

2011年3月期(第20期)
第2四半期決算説明会資料
(JASDAQスタンダード:9421)

2010年11月30日

代表取締役社長 小澤 正彦

目次

INDEX

- I. 2011年3月期上期決算ハイライト
 - 1. 事業環境Page3
 - 2. 連結業績概要Page4
 - 3. セグメント業績概要Page7

- II. 2011年3月期業績見通し及び施策
 - 1. 連結業績見通しPage14
 - 2. 施策Page15

I . 2011年3月期上期決算ハイライト

1. 事業環境

■ 当社グループが属する市場の状況

事業	市場	Positive	Negative
移動体通信事業	携帯電話販売	<ul style="list-style-type: none">・スマートフォン市場の拡大・モバイルデータ通信の普及・携帯電話端末の修理、メンテナンス需要の増加	<ul style="list-style-type: none">・端末の高価格化による買い換えサイクルの長期化・一部手数料の減額
コンテンツ・メディア事業 ※1	コンテンツ、ゲーム	<ul style="list-style-type: none">・スマートフォンの普及・モバイルデータ通信の普及・ソーシャルアプリ市場の拡大	<ul style="list-style-type: none">・コンテンツ提供会社の増加（競合他社の増加）

※1 コンテンツ・メディア事業はネットビジネス事業より名称変更しております。

2. 連結業績概要

(1) 業績サマリー(対前期比)

(単位:百万円)

科目	10年3月期上期		11年3月期上期			
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	前年同期比	
					増減	比率 (%)
売上高	6,331	100.0	7,703	100.0	1,372	121.7
売上総利益	1,940	30.7	2,012	26.1	71	103.7
営業利益	147	2.3	△132	—	△280	—
経常利益	103	1.6	△199	—	△303	—
当期純利益	△90	—	△597	—	△507	—

対前年同期主な増減要因

・移動体通信 +1,686百万円
・Pソリューション* △306百万円

・コンテンツ・メディア △251百万円
・移動体通信 △73百万円

・特別損失 539百万円

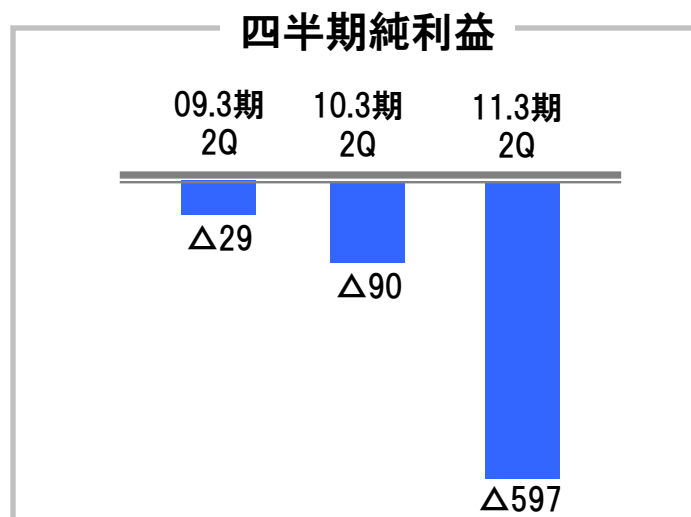
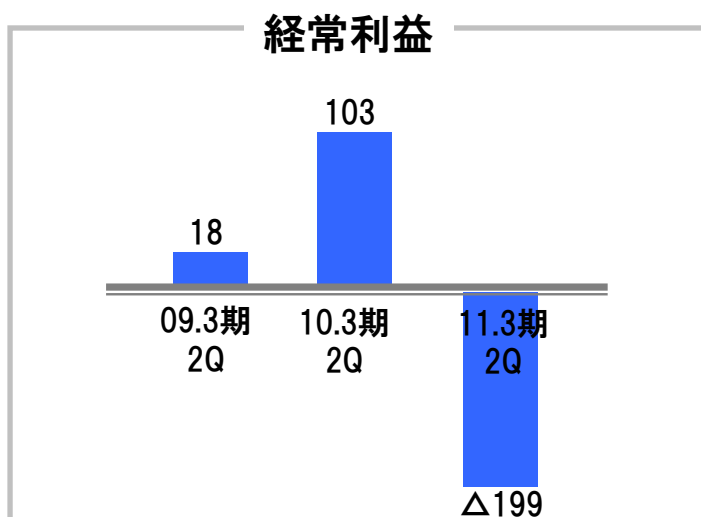
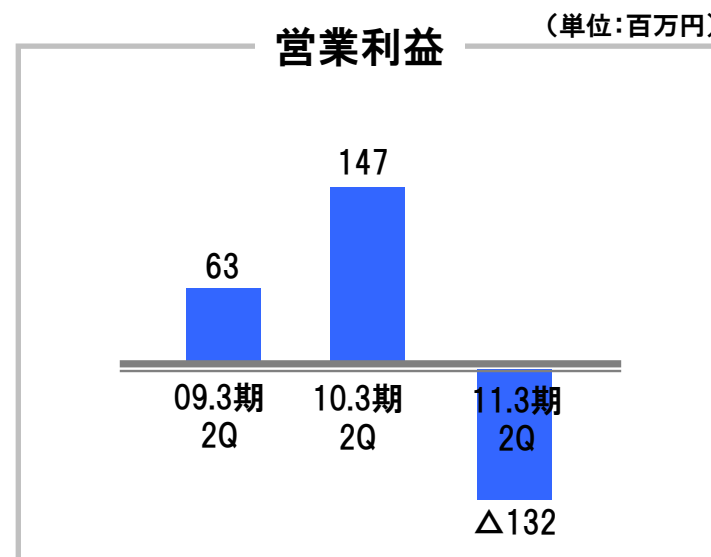
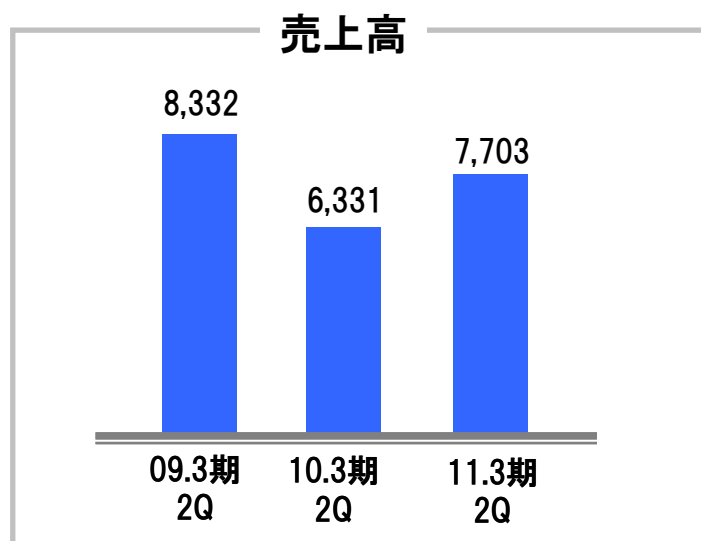
※プロダクトソリューション事業

(2)業績サマリー(対予想比)

(単位:百万円)

科目	11.3期 上期予想	11.3期 上期実績	増減額	比率(%)	10.3期 上期実績
売上高	7,000	7,703	703	110.0	6,331
営業利益	150	△ 132	△282	—	147
経常利益	150	△199	△349	—	103
当期純利益	60	△ 597	△657	—	△90

(3)業績の推移(連結)



3. セグメント業績概要

(1) 業績概要

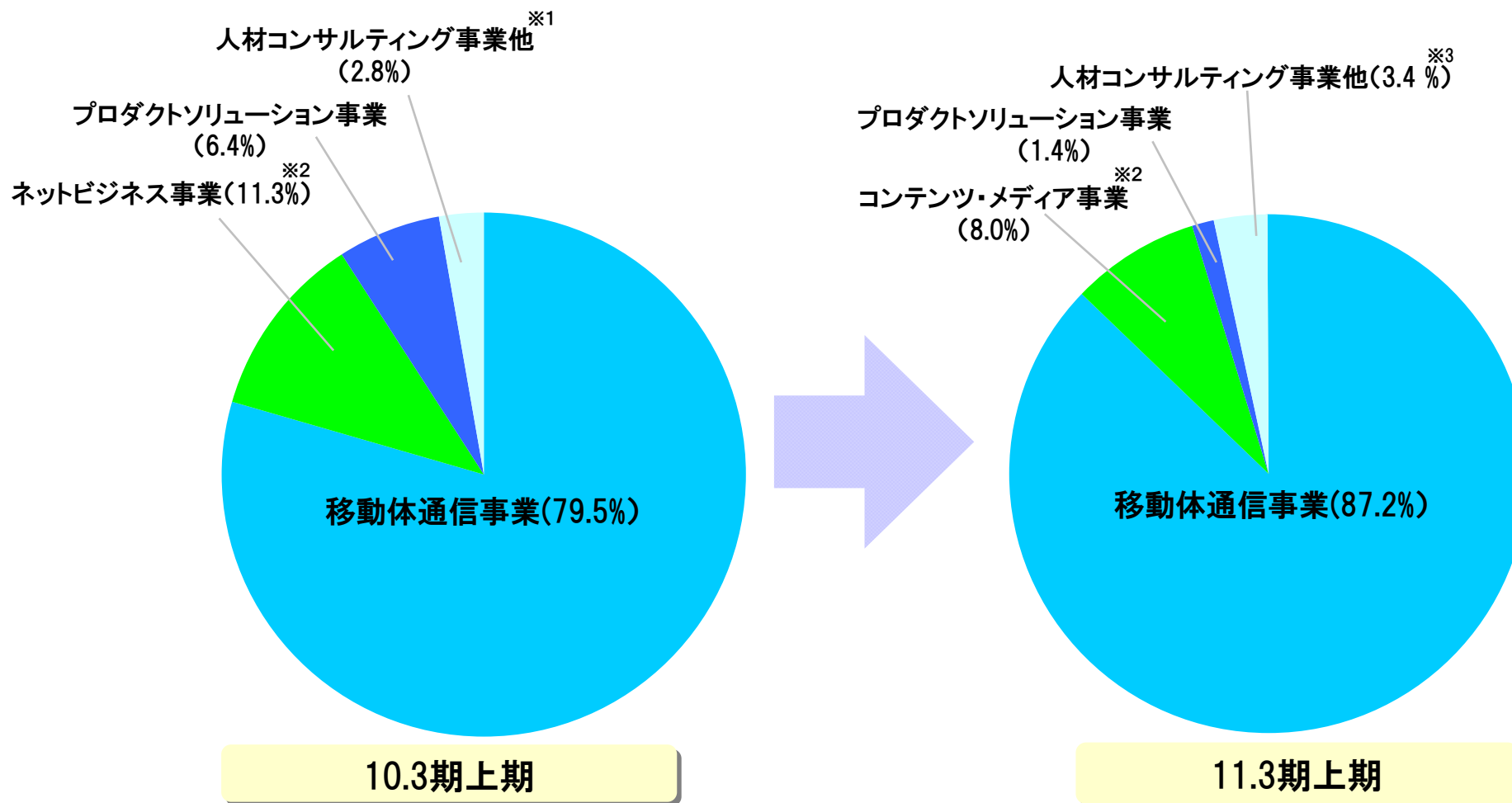
- ◆ 移動体通信事業は増収も販管費の増加及び手数料の減額等により減益
- ◆ コンテンツ・メディア事業、プロダクトソリューション事業、その他事業は営業損失

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	10.3期 上期	11.3期 上期	前期比(%)	10.3期 上期	11.3期 上期	前期比(%)
移動体通信事業	5,171	6,857	132.6	517	443	85.9
コンテンツ・メディア事業	732	627	85.6	59	△191	—
プロダクトソリューション事業	417	110	26.6	△95	△68	—
人材コンサルティング事業	150	195	130.0	27	11	42.1
その他事業	33	73	221.1	△71	△72	—

(2) 売上構成

◆対前期比で移動体通信事業の比率が増加



※1 人材コンサルティング事業、IT教育事業、その他事業
※2 ネットビジネス事業は、コンテンツ・メディア事業に名称変更しております。
※3 人材コンサルティング事業、その他事業

(3) 移動体通信事業(市場の動向と当社の販売状況)

11.3期上期トピックス

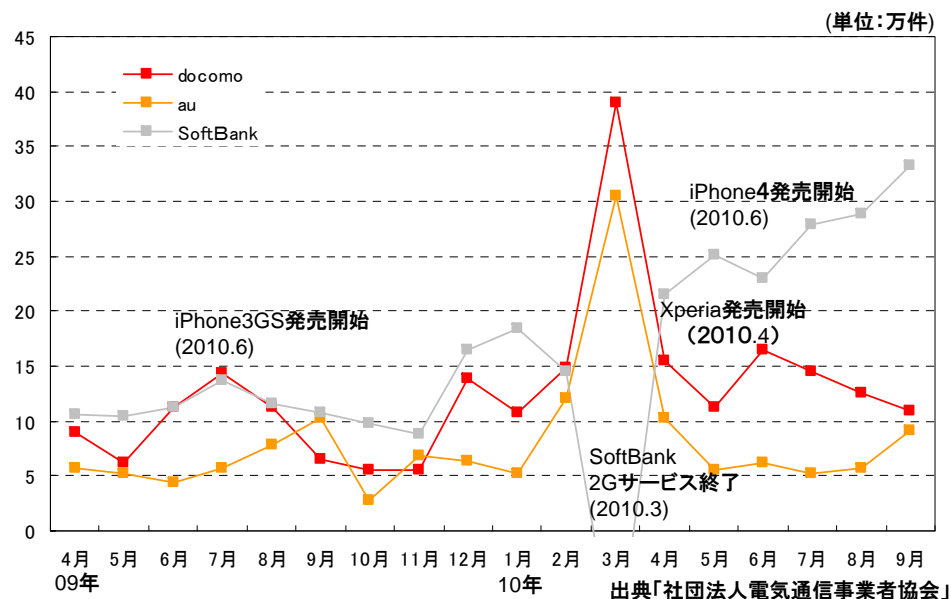
docomo、auは、概ね純増数と同様のトレンド

- ・docomoは、「Xperia」の販売が好調
- ・auは、光通信グループの併売店譲受けにより、販売台数が増加

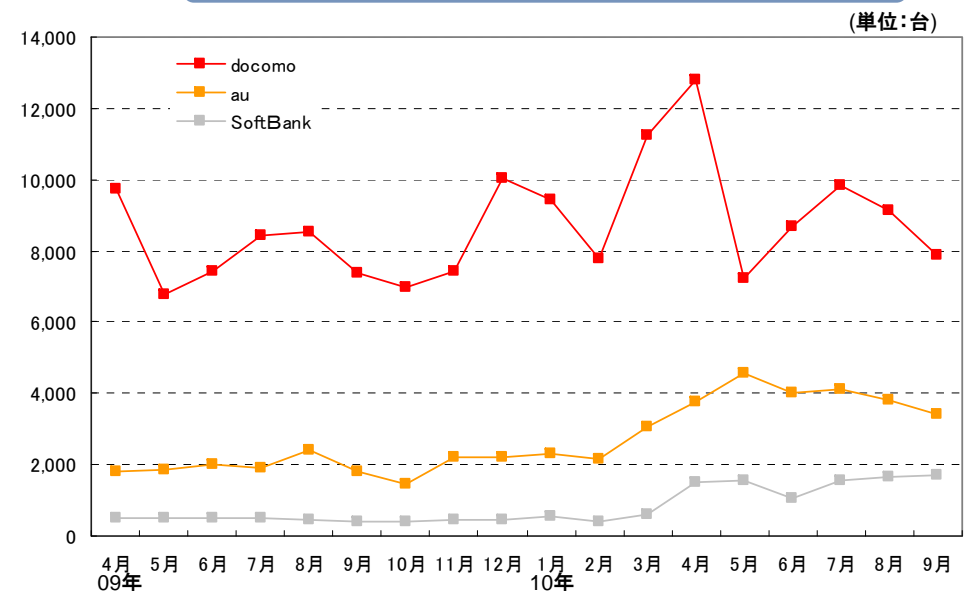
SoftBankは、トレンドを下回る

- ・光通信グループの併売店譲受けにより、販売台数増加も市場の伸びを下回る

主要キャリア純増数の推移



当社販売台数の推移



(4)移動体通信事業(収益の状況)

11.3期上期トピックス



販売台数増加による増収も利益率の悪化により減益

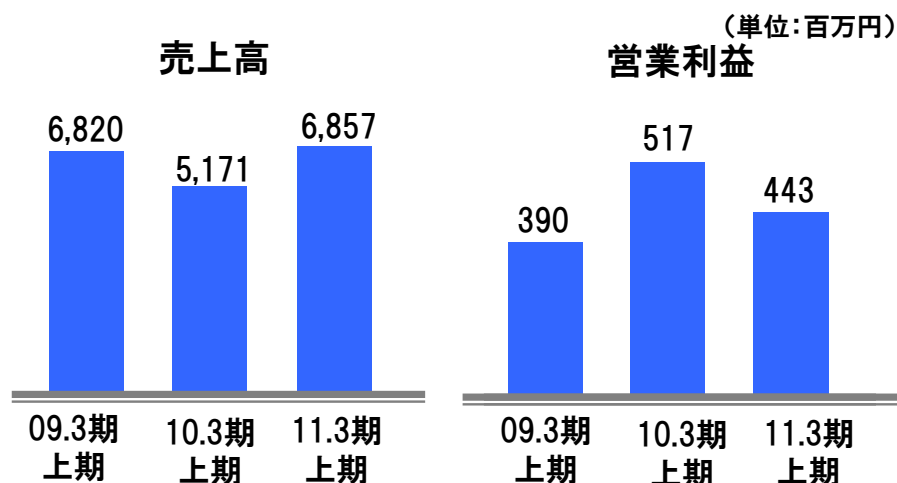
- ・販売台数は前年同期比50.7%増、売上高は前年同期比1,686百万円増
- ・顧客満足度向上の為にスタッフ増員及び手数料体系の変更等により営業利益は減少



販売力・顧客サービスの強化

- ・(株)光通信グループより携帯電話併売店23店舗の譲受けを実施し、店舗数は、40→63店舗(内、併売店43店舗)に増加
- ・端末以外の商材(データ通信等)のプロモーション強化
- ・他事業からの人員シフト、店舗照明のLED化

売上高と営業利益の推移






移動体通信事業関連指標

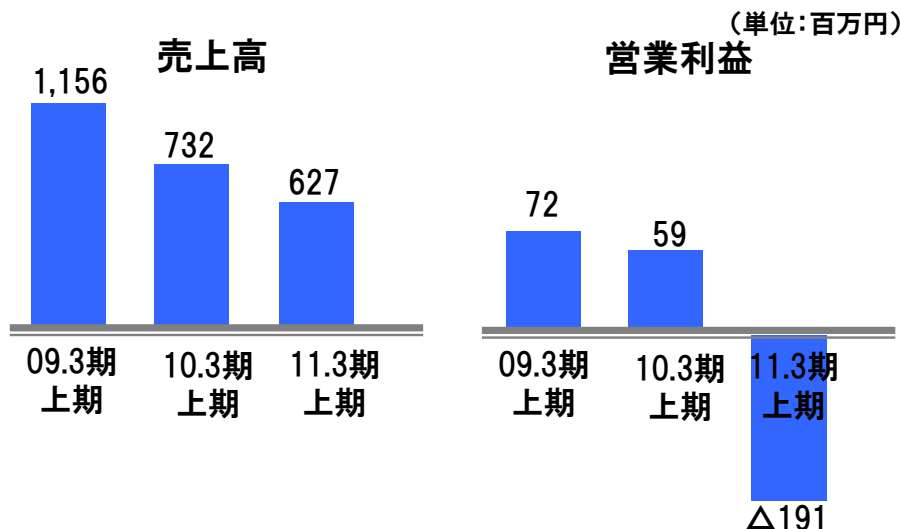
	09.3期 上期	10.3期 上期	11.3期 上期	増減要因
販売台数(台)	90,245	62,953	94,891	・店舗数の増加
売上高(百万円)	6,820	5,171	6,857	
売上総利益率(%)	21.8	27.0	25.1	・販売コストの増加 ・手数料の減額
営業利益率(%)	5.7	10.0	6.5	
営業利益/台(円)	4,329	8,214	4,679	

(5)コンテンツ・メディア事業

11.3期上期トピックス

- 
ネット広告事業縮小により減収減益
 ・売上高は前年同期比105百万円減、営業損失は191百万円
- 
不採算事業の整理
 ・アフィリエイト(成果報酬型)広告事業撤退、ソフトウェア等資産の減損による償却費負担の減少
- 
コンテンツ事業の強化
 ・SNS及びスマートフォン向けコンテンツの強化

売上高と営業利益の推移



事業構成比(売上高ベース)


(単位:%)

	10.3期上期	11.3期上期
モバイルコンテンツ事業	43.6	49.0
ネット広告事業	38.3	21.5
その他事業	18.1	29.6

(6)その他の事業


①プロダクトソリューション事業 売上高 110百万円 営業利益 △68百万円

11.3期上期トピックス

-  連結子会社モバイル・テクニカ株式売却に伴い減収も営業損失縮小
・第2四半期にてソフトウェア資産を減損

②人材コンサルティング事業 売上高 195百万円 営業利益 11百万円

11.3期上期トピックス

-  併売店増加に伴う派遣の拡大

Ⅱ . 2011年3月期業績見通し及び施策

1. 連結業績見通し

11.3月期業績見通し

(単位:百万円)

科目	11.3期 上期実績	11.3期 通期予想	10.3期 実績	前期比
売上高	7,703	17,000	12,624	+4,375
営業利益	△ 132	200	122	+77
経常利益	△199	100	28	+71
当期純利益	△ 597	△400	25	△425

対上期売上高の主な増減要因

(単位:百万円)

- ・販売台数増加による増収(移動体通信) +1,160
- ・新規アプリ投入による増収(コンテンツ・メディア) +440
- ・他の事業については上期と同水準で推移する見込み

対上期営業利益の主な増減要因


- ・販売台数増加、統合費用の減少(移動体通信) +170
- ・アプリ売上の増加、販管費の削減等(コンテンツ・メディア) +140
- ・負ののれんの減少(コンテンツ・メディア) △90
- ・販管費の削減(プロダクトソリューション) +70
- ・本社費の削減 +40


2. 施策


(1)グループ戦略

11.3月期の方針

財務体質の強化

-  **事業の多角化からの方針転換**
 - ・不採算事業の整理を行い、リソースを移動体通信事業へシフト
 - ・新規事業については、移動体通信事業とのシナジーの見込めるものに限定

-  **資産の圧縮、償却費負担の減少**
 - ・上期、不採算事業の整理に伴い、ソフトウェア資産の減損処理を行う
 - ・ソフトウェア資産は、10.3期末 788百万円→11.3期第2四半期末 329百万円へ減少
 - ・下期、グループ全体の減価償却費は、対上期比100百万円程度減少する見込み




-  **管理部門のコスト削減**
 - ・上期の本社費は263百万円、下期は賃料の値下げ等さらなるコスト圧縮に取り組む

2. 施策

(2) 移動体通信事業

11.3月期の方針

1台当たりの利益向上

-  **販売手数料収入から付加価値サービス収入へのシフト**
 - ・修理メンテナンス等の付加サービスや親和性の高い他商材の提供による収益拡大
-  **顧客満足に応える人材の育成**
 - ・継続的な研修による高い接客スキルの維持
-  **店舗網の拡大**
 - ・当社での販売台数比率が低かったau、SoftBank端末の販売を強化

(3)コンテンツ・メディア事業

11.3月期の方針

不採算事業の整理、コンテンツ事業の強化

不採算事業の整理

- ・リソースをコンテンツ関連事業にシフト
- ・当期は、大型投資を抑制(投資基準の厳格化)

既存コンテンツの販路拡大

- ・当社が有する公式コンテンツをmixi、GREE、Yahoo!モバゲー等のSNSへ展開

新規コンテンツの投入

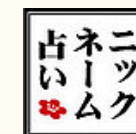
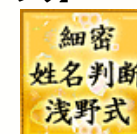
- ・SNS及びスマートフォン向けに新規アプリを投入

<ネプロアイティ主要コンテンツ>

【公式コンテンツ】



【mixiアプリ】



【App Store】



補足資料

参考データ① 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	10年3月末		10年9月末		
	金額	構成比	金額	構成比	増減
資産の部					
流動資産	4,928	56.8%	4,219	47.6%	△708
固定資産	3,754	43.2%	4,650	52.4%	896
有形固定資産	338	3.9%	456	5.1%	118
無形固定資産	809	9.3%	346	3.9%	△462
投資その他資産	2,606	30.0%	3,847	43.4%	1,241
繰延資産	—	—	—	—	—
資産合計	8,682	100.0%	8,870	100.0%	187
負債の部					
流動負債	3,680	42.4%	4,550	51.3%	869
固定負債	2,219	25.6%	1,978	22.3%	△240
負債合計	5,899	67.9%	6,529	73.6%	629

	10年3月末		10年9月末		
	金額	構成比	金額	構成比	増減
純資産の部					
株主資本	2,219	25.6%	1,569	17.7%	△ 649
資本金	592	6.8%	592	6.7%	—
資本剰余金	345	4.0%	345	3.9%	—
利益剰余金	1,316	15.2%	666	7.5%	△ 649
自己株式	△ 35	—	△ 35	—	—
評価・換算差額等	△33	—	△45	—	△12
少数株主持分	596	6.9%	816	9.2%	220
純資産合計	2,782	32.1%	2,341	26.4%	△441
負債純資産合計	8,682	100.0%	8,870	100.0%	187

参考データ② 連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	10年3月期 上期	11年3月期 上期	増減	対前期増減の主な要因
営業活動によるCF	74	205	131	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前当期純利益の減少 △841 ・減損損失の増加 377 ・法人税の支払額の減少 326 ・仕入債務の増加 234
投資活動によるCF	△397	△1,440	△1,042	<ul style="list-style-type: none"> ・事業譲受による支出増加 △1,180 ・固定資産取得支出の減少 152
財務活動によるCF	346	1,345	998	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入収入の増加 700 ・少数株主からの払込収入の増加 523 ・短期借入の減少 △434 ・長期借入金返済支出の減少 △212
現金及び現金同等物の期末残高	763	1,145	382	—

参考データ③ 月次携帯電話販売台数

(単位:台)

月	10年3月期 上期	11年3月期 上期	前期比 (%)	月	10年3月期 下期	11年3月期 下期	前期比 (%)
4月	12,039	19,157	159.1	10月	8,851	—	—
5月	9,168	15,237	166.2	11月	10,151	—	—
6月	9,939	14,632	147.2	12月	12,741	—	—
7月	10,773	16,511	153.3	1月	12,323	—	—
8月	11,416	15,702	137.5	2月	10,365	—	—
9月	9,618	13,652	141.9	3月	14,934	—	—
上期 累計	62,953	94,891	150.7	通期 累計	132,318	—	—

IRチーム お問い合わせ窓口

TEL 03-6803-3976

FAX 03-6803-3971

Email ir@nepro.jp

URL <http://www.nepro.jp>

- ・当資料におけるセグメント別売上高、営業利益のデータは、連結仕訳以前のものになります。
- ・当資料の作成に際し、正確性を確保するため、注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・当資料における業績見通し等の将来に関する記述は、作成時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
- ・当資料は、今後予告なしに変更されることがあります。
- ・当資料は弊社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなされますようお願い致します。
- ・当資料に記載されている会社名及び製品・サービス名等は、該当する各社の商標または登録商標です。